

資料 1

R6 大阪府社会教育研究会議について

第 2 次大阪府教育振興基本計画

●基本方針4 多様な主体との協働

○重点取組⑮|教育コミュニティづくりをはじめとする社会教育の推進

・重点取組達成のための手法：社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成

地域住民の自発的・主体的な学習活動や社会参加を促進するため、社会教育施設等における学習機会等の提供や、NPOや大学、企業等の多様な主体と連携・協力した地域活動を推進するなど、地域コミュニティの基盤を支える社会教育を推進します。

・成果指標

社会教育の推進、人材育成を目的とした研修の内容について、肯定的な評価の割合(%)	90%以上を達成・維持
--	-------------

・具体的事業等：社会教育委員等に対する学習機会の提供

社会教育委員等に社会教育委員が担うべき役割、社会教育行政の課題や推進方策、地域課題の解決に向け、多様な主体と連携・協力した活動について、協議、学習する研修等を実施する。

社会教育委員等に対する学習機会の提供

1. 大阪府社会教育研究会議

○形式：講演、グループ協議、発表

○対象：大阪府社会教育委員、市町村社会教育委員、社会教育関係職員 等

2. 近畿地区社会教育研究大会

○形式：全体会(記念講演等)、分科会(問題提起、協議等)

○対象：近畿各府県市町村社会教育委員・社会教育関係者、公民館関係者等

○R6近畿地区社会教育研究大会[京都大会]

【日時】令和6年9月6日(金)10:20~15:40

【場所】京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)

資料 1

令和6年度大阪府社会教育研究会議研究テーマについて

●趣旨：府内の市町村社会教育委員をはじめ社会教育の関係者が一堂に会し、社会教育委員の職責及び社会教育の推進方策並びに社会教育行政の課題について研究協議を行うことにより、社会教育委員等の資質の向上を図るとともに、大阪府の社会教育の振興に役立てることを目的とする。

●時期：12月頃(予定)

●研究テーマ(例)

- 社会教育委員や社会教育士が果たす役割について
- 地域と学校の連携・協働、子どもたちと地域のつながりを生み出す活動について
- 社会教育における人材育成・後継者育成について
- NPOの活動と社会教育関係団体や行政の社会教育の取組との接続について
- その他

●過去の講演等

	内容	講師等(敬称略)
R5	・社会教育における人材育成	天理大学人間学部 生涯教育専攻 教授 岡田 龍樹
R4	・地域の防災活動と社会教育	大阪大学大学院人間科学研究科 教授 渥美 公秀
R3,R2	近畿地区社会教育研究大会と合同開催	
R1	・家庭教育支援について(※コロナのため中止)	泉大津市教育委員会家庭 教育支援チームリーダー 芦澤 万里子
H30	・地域を学びの場とするために社会教育委員ができること～貧困の連鎖を防止し学習支援に寄与する学校と地域協働による開発的福祉教育実践研究～	大阪教育大学 教授 新崎 国広
H29	・社会教育の推進のためにできること～社会教育委員の役割～	滋賀県立大学 非常勤講師 小林 忠伸
H28	・今、社会教育が求められていること～社会教育委員ができること～	大阪樟蔭女子大 教授 萩原 雅也
H27	・だれもが独りにならない地域社会をめざして ～さらなる多様なつながりによる教育コミュニティづくり～ ・事例報告「子育て・孫育てフェスタ ～笑顔になれる1日～」	和歌山大学 教授 村田 和子 河内長野市社会教育委員 大谷 裕美子